

文部科学大臣杯 第76回 全日本大学対抗選手権自転車競技大会 大会要項

ver.20210618

主催 日本学生自転車競技連盟
 共催 公益財団法人日本自転車競技連盟
 運営協力 長野県自転車競技連盟
 後援 スポーツ庁 松本市 一般財団法人松本スポーツ協会 一般社団法人松本観光コンベンション協会
 協賛 公益財団法人JKA 公益社団法人全国競輪施行者協議会 一般社団法人日本競輪選手会
 井上ゴム工業株式会社 WIN AND WIN CO., LTD. (WIAWIS) 株式会社パールイズミ
 セイコータイムクリエーション株式会社 (複数標記部分順不同)

期日
 トラック：2021年 8月10日(火) 20時00分 トラック監督会議(リモートZoom会議)
 8月13日(金) 9時00分 トラック参加選手 受付+ゼッケン配布
 (於：トラック競技場内 9:30 終了)
 10時00分 競技開始
 12時15分 開会式(アナウンス放送で・役員選手集合整列はなし)
 競技終了後 表彰式/トラック競技種目別 於：トラック競技場内
 8月14日(土) 7時00分 2日目からのトラック参加選手 受付+ゼッケン配布
 (於：トラック競技場内 7:30 終了)
 8時00分 競技開始
 競技終了後 表彰式/トラック競技種目別 於：トラック競技場内
 8月15日(日) 7時00分 3日目からのトラック参加選手 受付+ゼッケン配布
 (於：トラック競技場内 7:30 終了)
 8時00分 競技開始
 第3日目競技終了後 トラック部門表彰式 於：トラック競技場内
 ロード：2021年 8月18日(水) 20時00分 ロード監督会議(リモートZoom会議)
 8月21日(土) 9時00分 女子ロード参加選手 受付+ゼッケン配布
 (於：本部受付 9:30 終了)
 10時00分 女子競技開始(17周=102km)
 14時00分 女子ロード部門表彰式・女子総合成績表彰式
 8月22日(日) 7時00分 男子ロード参加選手 受付+ゼッケン配布
 (於：本部受付 7:30 終了)
 8時00分 男子競技開始(30周=180km)
 14時00分 男子ロード部門表彰式・男子総合成績表彰式・閉会式

会場 トラック：長野県松本市三才山 松本市美鈴湖自転車競技場(333.33m)
 ロード：群馬県利根郡みなかみ町 群馬サイクルスポーツセンター 1周6km

大会主旨 本大会は、当該年度の日本学生自転車競技連盟(以下、「本連盟」という)の学校対抗形式による種目別の優勝者を決め、種目別の順位により与えられる対抗得点の合計をもって選手権校を決定する大会である。本大会は、当年度の日本

競技種目
 1. 男子の部：スプリント、1kmTT、ケイリン、4kmlP、タンデムスプリント、4kmTP、チームスプリント、オムニウム、マディソン、個人ロードレース 180km(30周=180km)
 2. 女子の部：スプリント、500mTT、3kmlP、チームスプリント、オムニウム、マディソン、個人ロードレース 102km(17周=102km)

参加資格

(男女共通)

- 当該年度に有効な、公益財団法人日本自転車競技連盟(以下「JCF」という)登録競技者のうち、本連盟登記選手。
- 別途本連盟より発表の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」を順守し、その遂行に協力し、審判・感染対策委員及び総務委員の指示に従うことを参加条件とする。当連盟ガイドラインを順守せず、その遂行に協力を拒む場合、および当日の体調が新型コロナ罹患を疑われる場合には、それが故意であるかに関わらず、大会参加・会場への入場を認めない。尚、参加申込にあたっては、本大会参加に伴って万が一発生した如何なる不利益・損害も参加者本人の責任に帰する事を承諾し、当連盟ガイドラインのみならず、所属校・居住地行政などの指針を熟慮の上参加可否を判断すること。
- 尚、本大会参加選手並びにチームスタッフについては、PCR検査を受けて大会当日までに陰性もしくは低リスクであることを当連盟まで報告することを参加条件とする。本大会開催当日までに報告がない場合はその選手並びにチームスタッフの参加を認めない。PCR検査の結果報告の方法についての詳細は別途発表するコミュニケを参照すること。また、参加選手並びにチームスタッフは、当連盟の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」に沿って大会開催14日前からの体調・体温の記録を各自記録しておくこと。当連盟から当該データの提出を求められた際には速やかに提出できるようにすること。

(男子トラックレース)

- 当該年度版学連大会参加基準を満たしている者。補欠選手も大会参加基準を満たしていること。
- 1人2種目迄、但し4kmTP、チームスプリントはこの数に含まない。1校あたりの最大人数は補欠を含め13名迄とする。
- 各校種目別のエントリー可能人数は次の通り。
 スプリント=2名迄、1kmTT=2名迄、4kmlP、ケイリン、オムニウム=1名、タンデムスプリント、マディソン=1組、4kmチームパーシュート=1チーム(6名/出走4名)、チームスプリント=1チーム(5名/出走3名)
- 補欠選手登録は、各校トラック各個人種目1名、タンデムスプリント・マディソン2名迄とする。
- マディソンの参加条件については以下の通りとする。UCI、JCF及び学連主催大会のマディソンレースにおいて走行経験の

ある者とする。補欠についても同様とする。なお、エントリー数により予選を行う場合がある。

(女子トラックレース)

9. 1人2種目迄、但しチームスプリント、マディソンはこの数に含まない。

10. 各校種目別のエントリー可能人数は次の通り。

スプリント、500mTT、3kmlP、オムニアムは各校2名迄、マディソンは2組迄、
チームスプリント1チーム(3名/出走2名)。

11. 補欠選手登録は、各校トラック各個人種目1名迄、マディソンは2名迄とする。

(ロードレース)

12. 男子は当該年度ロード・カテゴリ・クラス1若しくは2に属する者。1校6名迄、2019年度ロード・チームランキング上位8チームまでは+1名(最大計7名まで)、補欠選手登録2名迄。最大計150名。

尚、出走予定人数が150名を越えた場合、下記の順に150名までを選出する。

(1) 本年度のロード選手権ランキング

(2) 本年度ロード・クラス1の者

(3) 前年度の2020全日本大学自転車競技大会のロード競技で完走した者

(4) 前年度の2020全日本学生個人ロードレース大会の決勝で完走した者

(5) 本年度ロード・クラス2の者で本年度RCSランキング保持者、定員を越える場合はランキング順

(6) 上記にて定員に達しない場合、本年度ロード・クラス2の者で前年度RCS第1戦、第2戦、第3戦の順に成績上位から一人ずつ選ぶが、第1戦の同位に第2戦の該当者がいない場合は第3戦に、第3戦にも該当者がいなければ第1戦の次の順位へと進む

なお、補欠については本年度ロード・クラス1または2とし、上記人数に含まない。

13. 女子は1校6名迄、補欠選手登録2名迄。

(男女トラック/男女ロードレース共通)

14. 主催者が認めた若干名のJCF強化指定選手のオープン参加を許容する場合がある。(女子選手の男子レースへの参加を含む)
(チーム監督)

15. チーム監督はUCIコーチ資格、日本体育協会上級コーチ・コーチ・指導員資格、JCFチームアテンダント所持者に限る。

参加申込

1. 参加を希望する選手は、所定の様式にて本連盟事務局まで電子メールにより申し込むこと。エントリー専用電子メールアドレス(2020jicf.championship@gmail.com)への到着を以て参加申込の正式受領とするが、同一内容を郵送もしくはファクシミリにて期限内に送付する事。申込書式はJICFウェブサイトより入手できる。尚、トラックとロードそれぞれ専用の書式を使用するので、間違わないこと。

なお、大会当日受付でのライセンスチェックを行わないので、選手全員の一名分ずつのライセンスの写真画像データまたはスキャン画像データをエントリー用紙に添付すること。ライセンスが申請中の場合は、申請中であることを証明する書類のデータを添付すること。

また、体調管理シートを当連盟HPよりダウンロードして、選手は当連盟の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」に沿って大会開催14日前からの体調・体温の記録を各自記録して、当連盟から当該データの提出を求められた際には速やかに提出できるようにすること。

2. 参加料は正選手・補欠選手にかかわらずトラック、ロードそれぞれ1名6,000円。

3. トラックの申込期限及び参加料納入期限は、7月12日(月)必着、ロードの申込期限は7月19日(月)必着とする。尚、ロードについて、参加申込者数が150名を超えた場合には、上記の参加資格12.の方法により選出を行い、本連盟HP上に参加申込可能者のリストを掲載する。参加申込可能者は本連盟HPで発表する期日までに、下記の口座へ参加料を振り込むことで、ロードのエントリー手続きが完了する。

4. 参加料の送金は、銀行口座振込とする。送金名義人について、トラックは振込元に大会コード0813と、XX大学等、必ず学校名を、ロードは振込元に大会コード0821と、XX大学等、必ず学校名を記入すること。

振込先 長野県労働金庫(ろうきん) 諏訪湖支店 普通 9687387 口座名義 日本学生自転車競技連盟

5. 一旦入金された参加料は如何なる理由があろうとも返金しない。但し、新型コロナ関連の影響で本大会の開催を当連盟が中止した場合には、大会開催に要した費用を差し引いた金額を銀行振込で返金する。返金用の銀行口座をエントリー用紙に記入すること。また、上記の参加資格にあるように当日の体調不良や新型コロナ対策の履行を妨げることにより参加不可の判断を下された場合には参加料は返却しない。

6. 尚、本大会における欠場については、理由を問わず(怪我等の正当事由がない場合でも)ペナルティを課さないこととする。ただし、必ず事前に事務局(jicf@remus.dti.ne.jp)まで電子メールで欠場の連絡をすること。また、当日の発熱等、体調不良により欠場する場合は、受付開始までに学連携帯090-2207-2369へ必ず連絡をし、事務局までメールをすること。なお、欠場の場合の参加料は返却しない。

会場入場

1. 本大会は無観客大会とする。また、大会に来場する全ての選手、チームスタッフ、メディア関係者、その他の関係者はPCR検査を受け、当日に陰性もしくは低リスクであることを当連盟に報告することを入場の条件とする。当日までに陰性もしくは低リスクであることを証明することができない場合は、そのチームスタッフ、メディア関係者、その他の関係者の入場は一切認めない。詳細については別途発表するコミュニケを参照すること。

2. チームスタッフについては会場への入場者数を抑えてなるべく三密状態を避けるため、選手以外の方がチームスタッフとなる場合には、選手数+1名をスタッフ数の上限としてとして会場への入場を許可する。尚、監督とコーチはスタッフの合計人数に含まれる。また、チームスタッフの選手以外の方の全員の氏名をエントリー用紙内に記入すること。氏名の記入がない場合には、会場への入場を許可しない。またトラックの場合、チームスタッフのみが、インフィールド内への立ち入りを許可されるが、その人数についてはJCF規則の他、コミュニケにて人数を制限する。

さらに、チームスタッフは出場選手と同様に当連盟の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」に沿って大会開催14日前からの体調・体温の記録を各自記録しておくこと。当連盟から当該データの提出を求められた際には速やかに提出できるようにすること。エントリー用紙に記入した来場予定のチームスタッフの氏名を変更する場合は、大会開催3日前の22

時までには当連盟事務局あてに変更後のエントリー用紙をメールで送ること。これ以降のスタッフの変更・追加は認めない。尚、変更後のスタッフの体調・体温についても大会開催 14 日前からの記録を同様に提出可能にすること及び PCR 検査を受けて大会当日までに陰性もしくは低リスクであることを報告することを条件とする。

3. メディア関係者は、来場する場合、当連盟HPより取材申請書と体調管理シートを入手し、大会開催 3 日前の22時までに取材申請書をメールで事務局宛ご提出ください。また、選手の参加資格 2. にありますように当連盟の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」に沿って、必要な情報に関する書類の提出などにご協力いただくことを原則とします。なお、体調管理シートに大会開催 14 日前からの体調・体温についての記録を記入して保管して頂く必要があるとともに、PCR 検査を受けて大会当日に陰性もしくは低リスクであることを証明することができるようにすることが必要です。証明することができない場合は、競技場内への入場をお断り申し上げます。選手及び競技役員の安全のためご理解ください。

出場者受付

1. ライセンスコントロールはトラック、ロードともに事前にデータ上でを行い、大会受付の現場では行わない。
2. トラックの参加選手は1日目の9時00分から9時30分の間に、2日目及び3日目は7時00分から7時30分の間に、トラック競技場内の受付にてゼッケン等を受け取る。尚、当日の補欠選手起用届をこの受付時間内に受付に提出すること。これ以降は補欠選手起用届の提出は認めない。また、TPとTSPについては、当該番組開始1時間前までにTP・TSP出走選手届をセクレタリに提出すること。
3. トラックの参加者は、自転車・ヘルメットを持参して各ラウンド出走15分前までにバイク・インスペクションをセルフチェックで行うこと。但し、選手はマスクを着用し、決められた間隔をあけて順番を待つこと。また、自転車器材については選手本人が取り扱うものとし、審判は自転車器材等には触らないことを基本とする。詳細は別途発表するコミュニケにて確認すること。
4. 正当な理由なく前項の規定を履行できない選手は、参加することは出来ない。
5. トラックにおいて予選に参加した選手以外の選手が予選以降の競技に出走することは認められない。
6. ロードの女子参加選手は8月21日（土）9時00分から9時30分の間に、男子参加選手は8月22日（日）7時00分から7時30分の間に、本部の受付場所にてゼッケンとプレートを受け取る。
7. 出走前のバイクチェック、出走サインは行わない。レース終了後に上位者およびランダムサンプリングによりバイクチェックを行うことがある。器材に関する規則違反が明らかになった場合、レース終了後であっても、失格となる場合がある。
8. ロードは男女とも上記受付時間の終了を補欠選手起用届の提出の最終期限とし、その際、不出場となる正選手のゼッケンと引き換えに補欠選手のゼッケンを配布する。これ以降の補欠選手起用届の提出は正選手の病気・怪我などの理由を除き、基本的に認めない。

対抗得点

1. 男子については、以下の各種目の最終順位に従い、つぎの対抗得点を与える。なお、男子のトラック団体種目とは4kmTP、チームスプリントをさす。尚、男子オムニウムは団体種目の得点を適用し、マディソンは個人種目の得点とする。

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11~15	16~20
トラック個人種目	9	7	6	5	4	3	2	1				
トラック団体種目	14	12	10	8	6	4	3	2				
ロード	14	12	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

ただし、男子ロードレースについては各校ごとに上位3名迄のみが得点の対象となる。空位得点の繰り上げは行わない。

2. 女子については、以下の各種目の最終順位に従い、つぎの対抗得点を与える。

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
トラック個人種目	7	5	4	3	2	1				
トラック団体種目	10	8	6	4	3	2				
ロード	10	8	6	5	4	3	2	1	1	1

ただし、女子ロードレースについては各校ごとに上位2名迄のみが得点の対象となる。空位得点の繰り上げは行わない。女子のトラック団体種目とはチームスプリントをさす。女子オムニウム、マディソンの対抗得点は個人種目の得点を適用する。

3. 総合順位は、男女別ロード部門とトラック部門の対抗得点の合計の多寡をもって決定する。同得点の場合には、トラック競技・ロード競技の各種目上位8名までを対象として、上位者が多い学校を上位とする。

賞典・式典

1. 開会式は、8月13日（金）時程表に従い、競技場内にて放送アナウンスにて行う。
2. 総合成績・種目別成績について、順位に従って下記の範囲を入賞者とし、つぎの賞品・賞状を授与する。
 - 1) 総合成績（男子） 優勝：文部科学大臣杯・優勝旗・賞状、2・3位：賞杯・賞状、4~8位：賞状
（女子） 優勝：優勝杯・賞状、2・3位：賞杯・賞状、4~6位：賞状
 - 2) 男子トラック 優勝：チャンピオンジャージ・メダル・賞状、2・3位：メダル・賞状、4~8位：賞状
トラック部門総合成績：1~8位：賞状
 - 3) 男子ロード 優勝：チャンピオンジャージ・メダル・賞状、2・3位：メダル・賞状、4~10位：賞状
ロード部門総合成績：1~8位：賞状
 - 4) 女子（全種目） 優勝：チャンピオンジャージ・メダル・賞状、2・3位：メダル・賞状、4~6位：賞状
3. トラック種目の表彰式は、第3位以上が出席して、時程表に基づき、競技場内にて行う。
4. ロード種目・総合成績の表彰式は、閉会式の中で行う。
5. 閉会式は、8月22日（日）競技終了後、準備が整い次第行う。閉会式及び表彰式は、SF地点付近にて行う予定だが、変更する場合にはコミュニケで告知します。

事故措置

1. 競技中発生した事故等について、主催者にて応急処置の範囲の体制は準備するが、以降は各自の責任と費用負担において対応のこと。
2. 各選手は、各々の責任において傷害保険に加入し、健康保険証を必ず持参すること。

競技規則 JCF競技規則による他、詳細は本大会特別規則を定め適用する。

ドーピング検査

1. 本競技会は、日本ドーピング防止規程に基づくドーピング検査対象大会となる可能性がある。本大会参加者は大会にエントリーした時点で日本ドーピング防止規程に従い、ドーピング検査を受けることに同意したものとみなす。
2. また、大会出場時に18歳未満の競技者は、上記のドーピング検査の実施についての親権者同意書の日本アンチ・ドーピング機構（JADA）への提出が必要である。18歳未満の競技者並びにその親権者は、JADAの指定する様式をダウンロードして、必要事項を記入・署名のうえ、大会出場時に持参しなくてはならない。
<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>
3. 本大会参加者は、本大会において行われるドーピング検査を拒否または回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、ドーピング防止規則違反となる可能性がある。ドーピング防止規則違反と判断された場合には、日本ドーピング防止規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
4. 前記に鑑み、すべての参加競技者は、棄権、失格となった場合であってもドーピング検査対象となる可能性があることから、参加競技者は自己の責任において、自身がドーピング検査対象として指名されているか否かを確認すること。
5. 日本ドーピング防止規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト（<http://www.playtruejapan.org>）にて確認すること。

事務局 日本学生自転車競技連盟 E-mail: jicf@remus.dti.ne.jp URL: <https://jicf.info/>
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 ジャパンスポーツオリムピックスクエア408
Tel 090-2207-2369 Fax 03-6804-2329

大会特別規則

第1条（スプリント）

男子は予選タイム上位8名が1/4決勝に、女子は上位4名が1/2決勝に進出する。男子の1/4決勝は1回戦制で行う。

第2条（4kmIP、3kmIP）

決勝のみを行う。追抜きがあった場合でも両名完走しタイムを計時する。

第3条（タンデムスプリント）

別途定める「日本学生自転車競技連盟タンデム器材運用基準」に適合している器材であると同時に、後輪の駆動側にチェーン引き又は同等の効力をもつ緩み防止装置の装着を義務付ける。装着なき場合はレース・練習を問わず使用を禁ずる。予選の結果タイム上位8チームが1/4決勝へ進出する。1/4決勝は1回戦制で行う。

第4条（オムニアム）

男子はスクラッチ10km、テンポレース10km、エリミネーション、ポイントレース24kmで行う。

女子はスクラッチ8km、テンポレース8km、エリミネーション、ポイントレース20kmで行う。

男女とも、参加エントリーがトラックの制限（JCF規則第63条）による最多数の競技者を超える場合は、予選（ポイントレース）を行う。予選のポイントレースの距離について男子は12km、女子は8kmで行う。

第5条（マディソン）

男子は予選10km（30周）、決勝20km（60周）で、女子は決勝のみ16km（48周）で行う。

第6条（4kmTP）

決勝のみを行う。追抜きがあった場合でも両チーム完走しタイムを計時する。

第7条（男女チームスプリント）

1. 決勝のみを行う。
2. 女子は2名出走とする。

第8条（ギア比制限）

ロード競技のギア比制限は、年度末3月末日時点の年齢に基づいて適用する。

第9条（個人ロードレース）

1. 選手受付 選手は、競技開始15分前までにスタート位置に集合する。バイクチェックと出走サインは行わない。
2. スタート位置 出走選手のうち、昨年度の本大会本種目における上位10名までの選手に最前列でのスタートを認める。
3. 器材補給
 - 1) 男子・女子共に主催者にて代輪等を積載できる共通器材車を用意する。
 - 2) 各校にて用意した代車・代輪の交換を大会コミュニケにより指定した場所でのみ認める。
 - 3) 事故やパンク等の場合に選手間での自転車、車輪を交換することは、同一校の選手間に限って認める。
4. 食料補給 飲食物の補給を別途大会コミュニケにより指定する場所と周回でのみ認める。
5. 失格の取扱い
 - 1) 原則として、先頭より一定時間遅れた選手及びコミッサーが完走不可能と判断した選手は、失格とし競技より除外する。打ち切り時間は別途定める。
 - 2) 前項の規定以外にも突発事故の発生等により競技中の選手を除外する事がある。その場合はコミッサーの指示に従うこと。
 - 3) 競技を中止あるいは除外された選手は、速やかにゼッケンを外すか、ユニフォームを裏返してゼッケンを見えなくすること。
6. 正式スタートまでのパレード区間の距離は、大会コミュニケで発表する。
7. ロードレースについては一般公道を走行可能な装備で参加のこと。ベル・反射テープの装着も必須とする。

注意：大会要項は諸事情により変更される場合があるので、JICFウェブサイトを随時チェックすること。